

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	25220706	研究期間	平成 25 年度～平成 29 年度
研究課題名	南極点複合ニュートリノ望遠鏡で探る深宇宙－高エネルギーニュートリノ天文学の始動	研究代表者 (所属・職) <small>(平成28年3月現在)</small>	吉田 滋 (千葉大学・大学院理学研究科・教授)

【平成 28 年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>本研究は、IceCube 実験による PeV-EeV 領域の高エネルギーニュートリノ観測と、電波検出器アレイ ARA の建設の 2 本柱から構成される。</p> <p>このうち、IceCube 実験については、3 PeV 以上の宇宙ニュートリノ事象を発見し、EeV ニュートリノ事象の上限を抑えるなど、確実に成果を上げていると評価できる。一方、ARA (Askaryan Radio Array) 建設については、米国側の計画の変更により、一部計画に変更が生じているが、適切な対策をとっていると評価できる。</p>		